

美濃焼の“これから”を考えます

陶磁器試験場(☎59)8312)

粋な発想から生まれた、陶器のうれしい可能性。

今月は、「おろしをもっと気軽に」をコンセプトにした陶器具、『おろし上手』を紹介します。



「手軽」、「清潔」、「安全」、「風味豊かでおいしい」。この4つが特徴である『おろし上手』。その秘密は、器に施された突起にある。大小異なる粒子を適度な距離を保ちつつ職人の手で一つ一つ丁寧に塗り、釉薬を掛けて焼成する。完成したこの突起が力を必要とせず「手軽」におろすことを実現し、水洗いとタワシで軽くこするだけで簡単に「清潔」に、指で触れても痛みはほとんど無いのでより「安全」に、そして繊維が細かくおろせるので、「風味豊かでおいしい」という4つの特徴を実現している。

陶磁器を道具にした「陶器具」。昔ながらの道具を陶器で作ってもっと使いやすく、という粋な発想。新しいやきものの可能性は、ここから広がっていく。

TOTTOKI作品は陶磁器試験場で
展示しています。

『おろし上手』

ヤマ忠木股製陶所(肥田町)
木股智洋 さん



市長の部屋から

4月7日(金)・10日(月)

東濃看護専門学校(7日・写真左)と土岐医師会准看護学校(10日・写真右)の入学式に出席し、合わせて63人の希望に満ちた新入生の門出を祝いました。



皆さま、ご入学おめでとうございます。現在、医療の現場では看護師の不足が重大な問題となっており、地方の医療機関の存続も危惧されております。また医療の高度化に伴い、より高度な専門知識や技術が個人に要求されています。

そのような状況の中、皆さまが進まれる道は決して平たんではありませんが、医療の道を志した初心をいつまでも忘れることなく、患者さまに寄り添い、大きな支えとなる存在を目指していただきたいと思います。

土岐市長 加藤靖也

